

農 林 委 員 会 委 員 協 議 会 記 録

1 会議の日時	令和5年8月28日 開 会 午後 0 時 5 7 分 閉 会 午後 2 時 0 5 分
2 会議の場所	第 4 委 員 会 室
3 出席者	委 員 委員長 長 屋 光 征 副委員長 所 竜 也 玉 田 和 浩 渡 辺 嘉 山 伊 藤 秀 光 水 野 正 敏 酒 向 薫
	執 行 部 別 紙 配 席 図 の と お り
4 事務局職員	課長補佐 中 川 雅 洋 主任 脇 若 知 香 子

5 会議に付した案件

件名	審査の結果
1 世界農業遺産の保全にかかるコクチバス対策の取組について	

## 6 議事録（要点筆記）

### ○長屋光征委員長

それでは、ただいまから農林委員会委員協議会を開会する。

本日の委員協議会の開催にあたり、今年度から可能となった委員会へのオンライン出席を検証するため、議会事務局から伊藤秀光委員に対し、試験的なオンライン出席の対応依頼があり、今回特別にオンラインでの出席を許可しているため、前もって出席者に報告する。

本日の協議会は、委員会の所管事項の調査や施策の評価の充実を図るために開催したものである。

最初に、世界農業遺産の保全にかかるコクチバス対策の取組について、執行部の説明を求める。

（執行部挨拶：足立農政部長）

（執行部説明：金武里川振興課長）

（執行部説明：細野環境生活政策課生物多様性企画監）

### ○長屋光征委員長

ただいまの説明に対して、質疑はないか。

### ○玉田和浩委員

岐阜県は「清流の国」を謳い、すべての世界農業遺産の中でも唯一「里川」として認定されているので、コクチバスによりアユが全滅することがあってはならない。全国の模範として駆除対策をしっかりとやるのが大事。密放流者がコクチバスを特定外来生物と知っていれば密放流しなかったかもしれず、啓発活動をしっかりとやらないといけない。出てしまったものは、どんなことをしても駆除しないといけないが、環境DNA分析はどこまで正確に把握できるのか。

### ○金武里川振興課長

環境DNA分析は新型コロナウイルス感染症のPCR検査と同じ原理で分析するもの。

水を採水して検査するもので一定程度の生息把握は可能だが、必ず感知できるものではない。定点観測をして分布状況を把握する方法としては費用対効果が高いと考えている。

### ○玉田和浩委員

コクチバスの生息数の多い岩屋ダムでの駆除が重要であり、電気ショッカーボートが必要である。他県でも使用実績はあるが、どれほどの規模、効果かを確認し、速やかに購入する必要がある。初動が大切である。経費が約1千万円かかるようだが、多少予算をかけてでもやるべき。

### ○金武里川振興課長

岩屋ダムや揖斐川中流域など、現在生息が確認されている流れの緩やかな箇所では、電気ショッカーボートが一番有効である。滋賀県では3艘所有しており、効果等についてヒアリングを予定している。

### ○玉田和浩委員

駆除は農政部、啓発は環境生活部と分かれているので、コクチバスを駆除するまで臨時対策委員会等を立ち上げることはできないか。

### ○金武里川振興課長

環境生活部とは、コクチバス発見以降、ほぼ毎日情報共有等を行っており、連携を密に実施している。組織体制の強化も検討する。

### ○玉田和浩委員

岐阜市と関市は1,300年の歴史がある鵜飼がある。両市にも鵜飼ができなくなるかもしれないという危機感を持たせるべき。

### ○金武里川振興課長

世界農業遺産認定地域の市及び漁業協同組合に対し働きかけ、各々できることをやっていただき駆除

に努めたい。

○伊藤秀光委員

6月議会で質問した後に、あちこちでコクチバスが発見されたことは残念。今できることは全部やる覚悟が大事だがどのように考えているか。

○金武里川振興課長

県のリーダーシップの下、漁業協同組合、市町村、河川管理者と連携体制・役割分担を強化し、完全駆除を目指したい。

○伊藤秀光委員

買取制度により駆除が進んでいるが、罰則が機能していない。警察との連携についてはどのようになっているか。

○細野環境生活政策課生物多様性企画監

環境生活部と県警生活安全部で協議し、密放流等を見つけたら即座に警察に通報すれば警察官が現場に行く旨、調整済みである。チラシにより啓発していく。

○金武里川振興課長

漁業協同組合、河川管理者や県事務所、市町村職員が河川やため池のパトロールを実施している。コクチバスを持ち出そうとすれば、魚を生かせる道具であるエアレーション等の器具を持っており怪しい人物か判別できると思われるので、注意方法のマニュアルを作り、抑止体制を構築したい。

○玉田和浩委員

通常は不要であるはずのエアレーション等を持っている釣り人を見かけたら、声をかけることを徹底させる必要があると考える。

○伊藤秀光委員

長良川は世界農業遺産や鵜飼があるので重要であるが、川は繋がっているので県全域で対策を強化する必要があると思うがどのように考えているか。

○金武里川振興課長

買取制度は県全域を対象としている。導入の検討を求められた電気ショックボートは揖斐川中流域などでも効果があると考えている。その他の対策も県下全域を対象として徹底したい。

○酒向薫委員

コクチバスの産卵場所への対策をとらないといけないのではないかと。また、豪雨で水位が上がった場合にどのように動くか、天敵はいるか等、コクチバスの生態は。

○桑田里川振興課水産振興室長

現時点では繁殖地の候補地しか分かっていない。実際の繁殖地や越冬地など実態を調査し、適切な駆除方法を検討したい。

○金武里川振興課長

コクチバスは出水時に下流に流されるが、ダムがないため再び上流に上がってくるので、駆除とはならない。天敵はいない。

○酒向薫委員

10月以降の渇水期における対策も重要と思うがどのように考えているか。

○金武里川振興課長

季節に応じた対策が必要と考えている。水位が安定した段階で環境DNA分析や生息調査を実施し、産卵期前までに親魚を駆除していく。産卵期には産卵床を見つけていく。

○所竜也副委員長

チラシやポスターの配布をしているとのことだが、現地に看板を設置する計画はあるか。

○金武里川振興課長

岩屋ダムに3箇所、揖斐川中流域に2箇所設置済みである。今後も増やしていきたい。

○桑田里川振興課水産振興室長

郡上市内のため池にはチラスを掲示済みである。

○長屋光征委員長

特定外来生物に関しては大きな被害が出ていないと、対策を予算化していないと思われる。コクチバスだけでなく、ヌートリアなど様々な外来生物により農産物に被害が出ているが、被害が起きてから初動で根絶するのは難しい。

河口堰周辺のコクチバスは電気ショッカーボートで一気に駆除できるのか。

○金武里川振興課長

河口堰周辺の湛水域は電気ショッカーボートでの効果が期待されるが、どの程度かは滋賀県や販売業者から情報を得るなど、効果を見極めたい。

○長屋光征委員長

今朝の中日新聞で他県の取組が掲載された。長良川でバスを釣らせない、放流させないよう、徹底的に駆除してもらいたい。上流の漁業協同組合において網漁での駆除実績はあるか。

○金武里川振興課長

今朝の時点で駆除実績はない。先々週の台風の影響が終わり、これから網漁が始まるため、今後出てくると思われる。

○玉田和浩委員

電気ショッカーボートを早急に導入し、駆除してほしい。2、3月ではアユが遡上しアユに影響が出てしまうので、その前に対策をしてほしい。

岐阜県のアユを守るため、必要な予算措置をして何としても駆除してほしい。

○長屋光征委員長

岐阜県のアユを守るために財政課にも強く要求するとともに、環境生活部とも連携して組織体制もしっかりして強いメッセージ性を出してほしい。

○長屋光征委員長

質疑も尽きたようなので、これをもって質疑を終了する。

続いてその他として、何か意見等はないか。また、執行部はいかがか。

(発言する者なし)

○長屋光征委員長

意見もないようなので、これをもって、本日の委員協議会を閉会する。

農林委員会 委員協議会 配席図

令和5年8月28日

第4委員会室

